



## 「高橋信次先生」の番組作りに協力 ～できあがりを楽しみにして～

3学期はじめの学校だよりNo. 88で紹介した本校出身の先輩「高橋信次先生」のテレビ番組が制作されるということで、15日に4年生が撮影に協力しました。番組は、福島中央テレビで3月末頃放送予定の「(仮題)CTの先駆者 世界の高橋 ～二本松の偉人 放射線医学の世界的権威 高橋信次～」という30分番組だそうです。番組の中で使われるかどうかは、これから内容を検討して決めていくことにはなるようですが、子どもたちは「高橋信次先生に関するクイズ」に参加したり、図書室で学習する様子を映してもらったりしていました。

短い時間でしたが、子どもたちは番組作りの一端に触れることができました。子どもたちの可能性のスイッチはどこで入るかわかりません。そのためには、いろいろなことを経験することが大事なのではと思っています。できれば直接体験で。今回の経験を通して、高橋信次先生のように医学に興味をもったり、テレビマンに興味をもったりする子がでてきたりして……。正式に番組放送日等が決まったらまたお伝えしたいと思います。

## ちょっといい話 ～優しさと感謝の心～

朝、子ども達は基本的に集団登校で登校してきます。でも中には、いろいろな事情から一人で登校してきたり、お家の方に車で送ってもらったりする子もいます。

今朝も私は、いつも通り校門で子ども達を迎えていると、一人で登校してくる1年生の女の子がいました。そして、その脇には「北っ子見守り隊」の方が……。どうしてのかなと思ひ、見守り隊の方に事情を聞くと、集合時刻に遅れてしまったようで、心配だったので学校まで一緒に歩いてきたということでした。よく見ると1年生の歩くスピードに合わせて歩くだけでなく、子どもの安全を考え、車の状況をみながら、歩道の道路側を歩ってくださいだったのでした。北っ子見守り隊の方の「優しさ」を感じると同時に「地域の力」をあらためて感じたのでした。本当にありがとうございました。

しかし、話はここで終わりませんでした。1年生の女の子は、校門前で私とあいさつを交わすとくるっと後ろを振り向き、送ってくれた見守り隊の方にきちっとお辞儀をしたのでした。感謝の心の表れでしょう。何かをしてもらったなら感謝の意を表すのは当たり前のことかも知れませんが、なかなかできるようでできないことのようにも思うのです。

子どもを守る「優しさ」そして、それに応える「感謝の心」。朝からとってもすがすがしい気持ちになりました。



## 保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください(または [assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp](mailto:assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp) まで)～

..... 切 り 取 り 線 .....